

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」（ニセコ町放課後子ども教室）

都道府県名	01_北海道
市区町村名	013951_ニセコ町
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
013951_ニセコ町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	町に外国人の住民や観光客が増えるなかで、町の教育目標の一つである、町民の多文化理解能力、コミュニケーション能力の向上を図り、国内外交流・国際理解を進めることが課題となっている。	・放課後子ども教室のスタッフを配置し、年間70回程度の教室を開講する。 ・放課後子ども教室では、ニセコ町の特徴を生かし、子どもの多文化理解能力、コミュニケーション能力の向上に資するような内容のレク等を実施する。	子どもの多文化理解能力、コミュニケーション能力が向上する。	アンケート調査等において、国内外交流の経験があったり、国際理解が進んだと考えたりする子供の割合。	-	%	20	46	3 ・年度の最終月である3月にアンケートを実施した結果、約半数の児童が他国に興味を持っており、自身の好きな国もそれぞれあることが分かった。一方で、他国と日本を比較し、治安の良さという面で日本が一番いいという意見も多かった。小学校低学年が利用児童の大半を占める中、こういった意見から目標の達成ができていると考えられる。 ・ニセコ町という土地柄、クラスに必ず一人はハーフもしくは外国籍の友達がいる環境で、友達同士で話す言葉も日本語と英語が混じっている環境が当たり前の中にいる子どもたちなので、国内外交流は普段からあると思われる。 ・国際交流員が行うレクは他国の遊びが主で、遊びながら他国の文化や言語を学ぶものだが、外で遊びたい盛りの子が多く、Eタイムをやりたがらない子が多くなっている。今後は、国際交流員と話し合い、外でも行えるレクを考え、子どもたちの興味・関心を引き出せるよう改善を行う。